



自然豊かな寄地区

町長の考え方を問う



質問者
大館 秀孝 議員

① 松田町の人口が、依然として減少し続けている。昨今、その対策は？

内閣府の農山漁村に関する世論調査では、都市部に住む人の31・6%が農山漁村に定住してみたいと考えていることが発表されました。限られた日本全体の人口の中で移住をしてもらうためには、他の市町村と同じ対策では可能性は低いと思

います。本町独自のアイデアがあるのか？

② 就任以来1年になるうとしています。町政に対する自己評価をどのように考えているのか？

以上2点についてお伺い致します。

A 町独自の 方法を 検討します

回答（町長）



① 人口減少要因は、複雑かつ複合的であるため、一部局対応では困難であり、複合的施策を全庁的にスピーディかつ継

続的取組が必要と考える。また、既存施策の発信不足と考へ、転入促進や転出抑制を図るため、他町より充実した町独自の施策をホームページ等の媒体を活用して、強力に推進していく必要がある。

向け町営住宅を公設民営で新たに建設することも検討したい。
② 自分自身の評価は、本人がすべきものではないと思っている。4年間の任期が終わる時に、町民皆様の評価がくだされると思う。1年間ケガや病気もなく、全力で町政経営に取組めたこと、深く感謝申し上げます。

町営住宅の安全性と 生活確保について



質問者
鍵和田 貴美代 議員

町営住宅の問題については、何年も前よりさまざまな意見があり、問題が提起されております。毎年、台風や大雨（豪雨）による被害が報道されています。松田町では、最悪の事態には至っておりませんが、老朽化した町営住宅の今後を考

えると、家屋の被害と生活の安全性が心配です。そこで、次の2点についてお伺いします。
① 今年の台風や大雨（豪雨）で、町営住宅の破損や被害はありましたか。また、台風以外で補修された件数と内容は、

② 老朽化に伴い、今後



沢尻町営住宅の空き家・H26年度解体予定

町内の空き家に移住するなど、住居と生活の安全確保のための対策を、町としてどのように考えていますか。

A 新規建設の 計画を 現在、策定中

回答（町長）



① 今年の台風や大雨による被害はなかった。台

風以外の補修は、雨漏りと排水関連の修繕で、26年度2件・25年度9件・24年度13件・23年度10件・22年度11件であった。

② 効率化・定住化・人口増の観点から、移転していただけないかと考えている。町内の賃貸住宅の空き家に移る方に、家賃補助する方向で検討している。現在、新規に建設すべく計画を策定中。今後入居者の方の意向を調査し、最大限考慮しながら事業にあたる。